

保全配慮地区における保全等の方針（案）について（説明資料）

1. 検討経過と今後のスケジュール
2. 各地区の概況と共通方針（振り返り）
3. 各地区の個別方針（案）
4. 行政による支援の進め方

1. 検討経過と今後のスケジュール（予定）

令和5年度

- 第11回 審議会【令和6年1月29日】
 - ・保全配慮地区の現状について（参考資料2～6）

令和6年度

- 第12回 審議会【令和6年8月21日】
 - ・保全配慮地区における保全等の方針（素案）について
- 第13回 審議会【令和7年1月24日】
 - ・保全配慮地区における保全等の方針（案）について（とりまとめ）

令和7年度

- 第14回 審議会【令和7年7月頃 ⇒ 5月頃】
 - ・保全配慮地区における保全等の方針（案）について（答申）
- 緑の基本計画〈2026〉への反映【令和7年秋～冬頃 ⇒ 夏頃】

2. 各地区の概況と共通方針（振り返り）

① 各地区の概況

〈各地区の概況・特徴〉

【各地区での共通点】

- ・いずれの地区も風致地区に指定されているなど、風致や景観の上で重要な地区である
- ・緑被率は平成25年以降、概ね同水準で推移している

【各地区での相違点・特徴】

- ・周辺の土地利用がそれぞれ異なる（商業・業務系：天王寺地区、住宅系：杭全地区・聖天山地区、混在系：夕陽丘・生玉地区）ため、各地区のステークホルダー（地域住民、周辺企業など）にも違いがあると考えられる

項目		夕陽丘・生玉地区	天王寺地区	杭全地区	聖天山地区
地区の概況	土地利用	・地区内は文教施設が多数 ・ <u>地区周辺は商業・業務施設、住宅などが混在</u>	・地区内は公園緑地と文教施設で構成 ・ <u>地区周辺は商業・業務施設などが多数</u>	・地区内は公園緑地と文教施設で構成 ・ <u>地区周辺は住宅などが多数</u>	・地区内は公園緑地と文教施設で構成 ・ <u>地区周辺は住宅などが多数</u>
	景観計画	・都心景観形成地区に該当 ・地区の大半は上町台地景観配慮ゾーンとして指定	・都心景観形成地区に該当 ・地区の大半は上町台地景観配慮ゾーンとして指定	・一般区域に該当	・一般区域に該当 ・地区全域が上町台地景観配慮ゾーンに指定
	風致地区	・ <u>全域が夕陽丘風致地区</u>	・ <u>全域が茶臼山風致地区</u>	・ <u>ほぼ全域が杭全風致地区</u>	・ <u>全域が聖天山風致地区</u>
みどりの概況	特徴	・上町台地の斜面林が地区内を縦断している	・天王寺公園が大部分を占め、多くの来園者が訪れる	・杭全神社の境内にはクスノキ等の大木が見られる	・聖天山古墳のクスノキがシンボルとなっている
	緑被率	・ <u>概ね同水準（約30%）で推移</u>	・ <u>概ね同水準（約50%）で推移</u>	・ <u>概ね同水準（約70%）で推移</u>	・ <u>概ね同水準（約70%）で推移</u>
	保存樹	・計2本（安居神社）	・指定なし	・計3本（杭全神社）	・指定なし
	保存樹林	・計6,521㎡ （大江神社、宗念寺）	・540㎡（堀越神社）	・指定なし	・指定なし

2. 各地区の概況と共通方針（振り返り） ② ヒアリング調査結果

緑の保全に関する実情や課題を把握するため、各地区の寺社仏閣を対象に、ヒアリングを実施

〈維持管理の現状〉

【各地区での共通点】

- ・各寺社仏閣にとって、緑は貴重な資源として捉えられている
- ・一方で、近年では台風による倒木なども発生していることから、緑の保全を取り巻く状況は必ずしも安定的とは言えない
- ・費用や人員などの面で制約があることから、寺社仏閣としては自身のみで緑を保全し続けることに難しさを感じている
- ・特別緑地保全地区など、現状凍結型の保全（規制など）を望む声はなく、現状の利用・活動と保全の両立を図る意向であった

【各地区での相違点・特徴】

- ・樹木の維持管理は、各寺社仏閣とも可能な範囲で行われているため、作業頻度などがそれぞれ異なる

項目	夕陽丘・生玉地区	天王寺地区	杭全地区	聖天山地区
維持管理の現状	・境内の外にも広い敷地を有している ・<u>緑豊かな雰囲気を感じて訪れる参拝者も多く、ウメやクスノキは保全したい</u> ・個々の樹木の健全度なども確認した上で、樹木の整理を実施	・平成30年の台風で受けた倒木被害や、隣地に越境した枝の事故リスクも考慮し、樹冠を小さくする剪定を実施している ・剪定等は年に1回（庭師に依頼）、施肥は年に数回実施	・市内でも貴重な鎮守の森として捉えており、なるべく樹木を減らさないように管理している ・平成30年の台風で保存樹が倒木したが、元の大きさに回復 ・景観に配慮した剪定は造園業者へ依頼し、日々の軽微な作業は自ら実施	・樹木の大木化が進んでおり、周辺への影響が懸念される ・<u>サクラは地域の方々にも親しまれているため、施肥などを実施</u> ・その他の維持管理はほとんど実施できていない
求める支援など	・<u>保存樹・保存樹林の補助予算の確保（現状の補助では維持管理費を賄えない）</u> ・落ち葉の処分 ・現状凍結型保全は望まない	・道路へ越境した樹木の剪定 ・保存樹・保存樹林の補助申請手続きの簡素化 ・落ち葉の回収 ・現状凍結型保全は望まない	・<u>緑の知識や技術を学べる講習</u> ・<u>ボランティアによる管理の仕組みづくり</u> ・<u>市民理解につながるよう緑の価値や意義の啓発</u> ・現状凍結型保全は望まない	・現状凍結型保全は望まない

2. 各地区の概況と共通方針（振り返り） ③ 共通方針

各地区の概況やヒアリング調査を踏まえた課題を整理した上で、それらに対応するために、各地区に共通する方針を設定

■ 課題①

自然災害など、緑を取り巻く状況は必ずしも安定的ではない

■ 共通方針①：継続的な緑の現状把握

…緑の現状や保全の取組などについて、継続的なモニタリングを行う

- 【取組例】・緑被率等の定期的な調査
・土地所有者（寺社仏閣など）との定期的な対話 など

■ 課題②

都市の貴重な財産である緑の価値を十分に共有できていない

■ 共通方針②：緑の情報・価値の共有と発信

…各地区の特徴的な緑（保存樹など）に関する情報発信などを行い、希少性や価値をステークホルダーなどと共有することで、保全に向けた機運醸成を図る

- 【取組例】・本市ポータルサイトでの情報発信 など

■ 課題③

土地所有者（寺社仏閣など）としては、自身のみで緑を保全し続けることに難しさを感じている

■ 共通方針③：多様なステークホルダーによる支援

…地域住民や周辺企業など、多様なステークホルダーが様々な形での支援を行い、持続的な保全につなげていく

- 【取組例】・ボランティアやエリアマネジメント活動などによる参画
・寄付等を活用した補助制度の充実 など

共通方針③については、地区ごとに緑の現状やステークホルダーが異なり、支援の形も変わってくることから、地区ごとの個別方針も併せて設定する

3. 各地区の個別方針（案）

■ 夕陽丘・生玉地区

《地区特性、緑の現状》

- ✓ 複数の文教施設（寺社仏閣・学校等）が存在。商業施設、業務施設、宅地が混在
- ✓ 上町台地沿いに公園や神社などの緑が連なり、まとまった緑が存在
- ✓ 「天王寺七坂」などの歴史的な資源も存在

《想定される主なステークホルダー》

- ✓ 地区内：寺社仏閣（多数）、学校 など
- ✓ 地区周辺：地域企業・店舗、地域住民、学校 など



地区内を縦断する斜面上にまとまった緑が存在している。



保全樹林のある神社（大江神社）

地区内は社寺や学校、地区周辺は商業・業務・宅地が混在。



【夕陽丘・生玉地区の個別方針】

寺社仏閣・企業・学校等の多様な主体による参画・支援

【取組のアイデア例】

- 文教施設や地域企業、店舗等による保全への参画（清掃、寄付など）
- 利活用（まちあるきなど）を通じた普及啓発

3. 各地区の個別方針（案）

■天王寺地区

《地区特性、緑の現状》

- ✓ 天王寺公園と文教施設で構成
- ✓ 周辺には商業・業務施設が多数存在し、観光客も多数往来するエリア

《想定される主なステークホルダー》

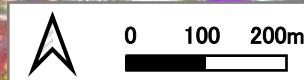
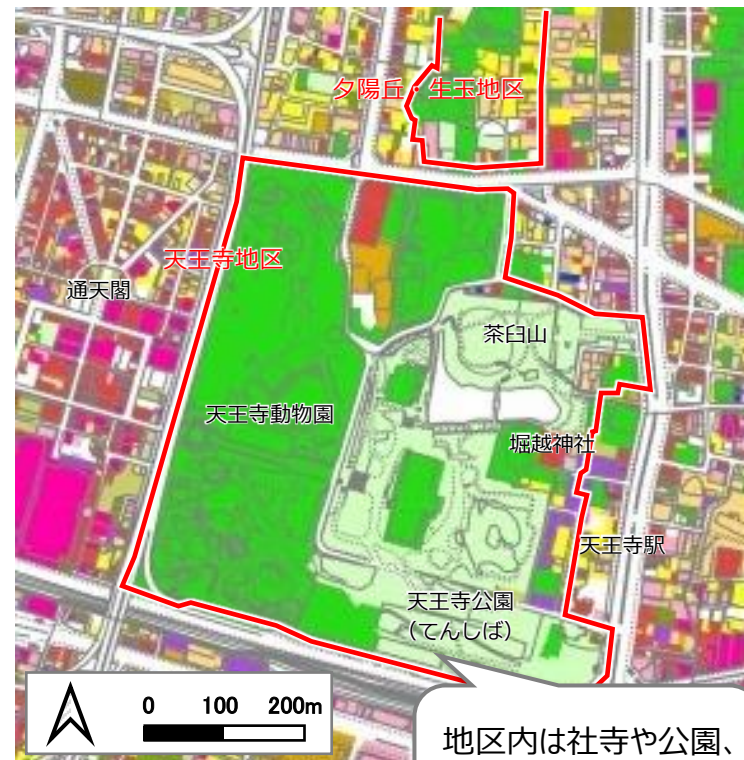
- ✓ 地区内：寺社仏閣 など
- ✓ 地区周辺：地域内外の企業、周辺の店舗、観光客 など



多くの利用者でにぎわうてんしば



外国人観光客も訪れる堀越神社



地区内は社寺や公園、動物園、地区周辺商業中心の観光エリア

凡 例

□ 保全配慮地区区域

■ 一戸建て住宅

■ 長屋住宅

■ 共同住宅

■ 販売商業施設

■ 業務施設

■ 文教施設

■ 医療厚生施設

■ 遊興・娯楽・サービス施設

■ 宿泊施設

■ 工業施設

■ 供給施設

■ 運輸通信施設

■ 官公署施設

■ その他の施設

■ 公園・緑地・お墓

■ 建物のない土地

【天王寺地区の個別方針】

ワーカーや観光客などの来訪者も参画・関与した保全の推進

【取組のアイデア例】

- エリアマネジメントの観点等による保全への参画（清掃、寄付など）
- 利活用（公園でのイベントなど）を通じた普及啓発

3. 各地区の個別方針（案）

■ 杭全地区

《地区特性、緑の現状》

- ✓ 住宅地が中心、学校や集合住宅が隣接
- ✓ 神社境内地の樹林地や公園の緑が、まちなかに残る貴重な緑として存在
- ✓ 市民ボランティアが草刈り、清掃といった保全活動を実施

《想定される主なステークホルダー》

- ✓ 地区内：寺社仏閣 など
- ✓ 地区周辺：地域の住民・ボランティア、学校、店舗 など



クスノキなどの大木が見られる杭全神社



地域住民による清掃活動が行われている平野環濠跡と杭全公園



【杭全地区の個別方針】

地域のコミュニティを中心とした保全の拡大・展開

【取組のアイデア例】

- 地域住民等による保全活動（清掃など）の継続・拡大
- 利活用（神社での行催事など）を通じた普及啓発



3. 各地区の個別方針（案）

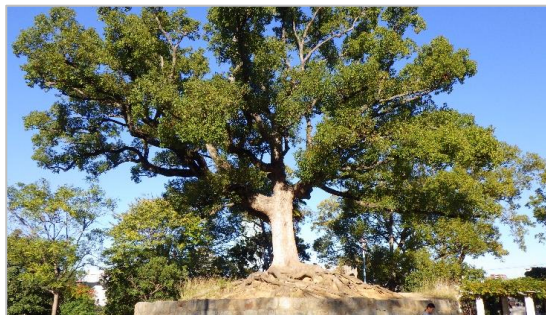
■ 聖天山地区

《地区特性、緑の現状》

- ✓ 住宅地が中心、中学校が隣接
- ✓ 聖天山古墳のクスノキやサクラなど、シンボルとして地域に親しまれている緑が存在（保存樹・保存樹林の指定はない）

《想定される主なステークホルダー》

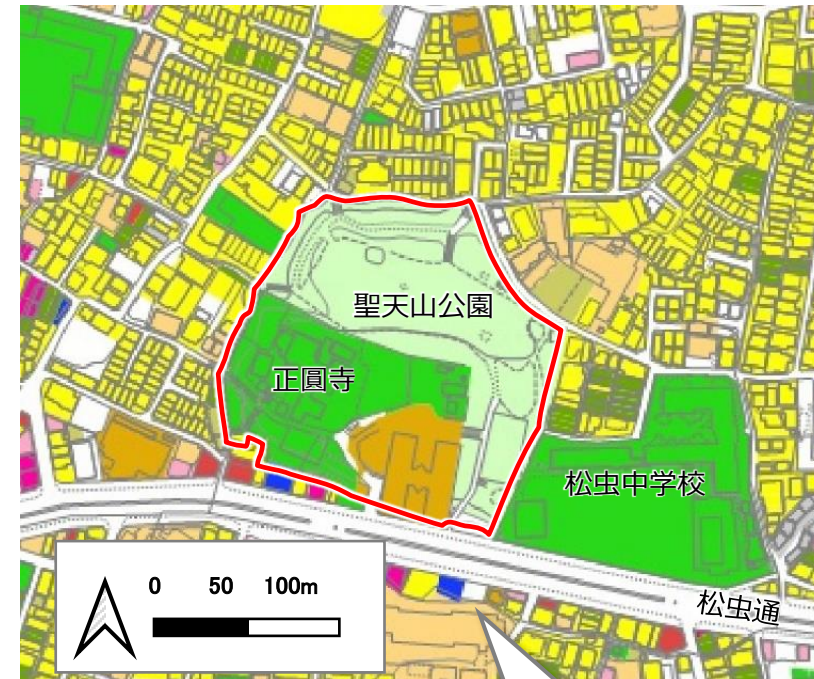
- ✓ 地区内：寺社仏閣 など
- ✓ 地区周辺：地域住民、学校 など



大きなクスがある聖天山古墳



遊具や休憩施設がある聖天山公園



凡 例

□ 保全配慮地区区域	■ 宿泊施設
■ 一戸建て住宅	■ 工業施設
■ 長屋住宅	■ 供給施設
■ 共同住宅	■ 運輸通信施設
■ 販売商業施設	■ 官公署施設
■ 業務施設	■ その他の施設
■ 文教施設	■ 公園・緑地・お墓
■ 医療厚生施設	■ 建物のない土地
■ 遊興・娯楽・サービス	

地区内は社寺や公園、地区周辺は住宅地中心、学校が隣接

【聖天山地区の個別方針】

地域のシンボルとなる緑の保全・再生

【取組のアイデア例】

- 公園樹の健全な保全育成
- 緑の保全に対する支援策の検討（寄付の活用など）

4. 行政による支援の進め方（イメージ）

緑の基本計画に基づく支援により方針の実現をめざす（計画期間満了時など、必要に応じて方針の見直しも検討）

